

国民民主

KOKUMIN MINSHU PRESS

国民民主党 国民民主プレス 編集部

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3Nagatacho GRID 4F

TEL : 03-3593-6229 MAIL : info@new-kokumin.jp HP : new-kokumin.jp

こくみんみんしゅ
Press

号外

2025年2月

【連絡先】国民民主党茨城県第5区総支部(浅野さとし事務所)

国会事務所

〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館406号室
TEL : 03-3508-7231
FAX : 03-3508-3231

日立事務所

〒317-0071
茨城県日立市鹿島町1-11-13
TEL : 0294-21-5522
FAX : 0294-21-3014

公式サイト

<https://asanosatoshi.com/>



東海村長
山田修

特別
対談

衆議院議員
浅野さとし

次の世代や未来を展望できるような 取組みを展開していく

2025年特別企画として、本年も1月20日に山田修 東海村長との特別対談を実施させていただきました。対談では、人口減少、東海村の将来、「103万円の壁」の引上げ等について取り組んだ2024年を振り返り、今後のまちづくりの展望についての思いを語っていただきました。

2024年を振り返って

村への愛着やシビックプライド を持てるよう取組む

浅野衆議院議員 (以下、浅野) 2024年は、元日から能登半島地震や航空機事故が発生し、試練のスタートとなった年でした。また、政界では都知事選挙や衆議院総選挙などの大型選挙が続き、主要政党の党首も一斉に代替わりした年でした。また、ドジャース大谷選手の大活躍やトランプ氏の再選なども記憶に新しい出来事でした。改めて一年を振り返り、村長として、また私生活等で印象的だったことを教えてください。

山田東海村長 (以下、山田) 今年を振り返ると、「ブルー

ビー縦の木公園」のオープンが嬉しい出来事の一つでした。これまでに多くの方々にご利用いただき、賑わいが出ていることを私自身も実感しています。イベント開催時における駐車場不足が問題となりましたが、現在は、近隣に新たな駐車場の整備も進めております。今後とも、更に利便性を向上させながら、村民の皆様楽しんでもらえる公園としての魅力向上を図ってまいります。また、新たなシティプロモーションもスタートし、「いいムラをつくろう とうかいむら」というブランドメッセージと可愛らしいロゴマークが、あちこちで見られるようになりました。これまで、外に向けて村の魅力アピールしてきましたが、今回は、人づくりへの仕組みと捉え直し、村民の方々に対して、村への愛着やシビックプライドを持っていただけるような取組みを進めていくことで、まちづくりに関わる人を増やしていきたいと考えています。更に、



「わかものまちなみ」の初開催への期待を語る山田村長

私生活では、日立市で開催された「第1回ひたちシーサイドマラソン」に参加しましたが、30km手前でリタイアしてしまい、大変後悔しています。今月（1月）に開催される「勝田マラソン」でリベンジします！

浅野 いま村長のお話を伺いながら、去年は色々な場面で村長とご一緒させていただいた記憶が一挙に蘇ってきました。ブルービー縦の木公園がオープンした日のことは今でも鮮明に覚えています。私もよくこの公園の近くを通りかかることがあるのですが、いつも、子どもたちが元気に遊んでいたりと、ご家族の皆様が楽しそうに公園で過ごしている光景を目にしています。やはり、地域の皆様笑顔で過ごしている姿を見るのは、嬉しいですね。また、東海村は数年前から村の魅力を積極的に発信されていますし、実際に東海村に足を運ぶたびに新しい家々ができているのを拝見しています。若い世代の方々に東海村の魅力が確実に届いているんだと、私も嬉しく思っています。一方、東海村でも毎年の出生数は横ばいが続いている点については、山田村長とも課題感を共有できていると思っています。

人口減少に対する考え方と対策について 本村の若者たちが更に大きく 飛躍することを期待

浅野 まずは、人口減少に対するお考えや行政の対応についてお聞きます。東海村では、地元の観光協会や商工会、若い経営者らが中心となって開催している「東海まつり」

「1〜MOのまつり」「大空マルシェ」などの行事に活気があり、私は昨年もお邪魔して、大いに楽しませていただきました。特に、11月に行なわれた「1〜MOのまつり」での「ティラノサウルスレース」は、見ていてもとても面白く、来年は私も出走してみようかと考えています。このようなイベントで地域を盛り上げていくのは重要ですが、それ以外にも、若者世代の定住または交流人口確保策として、これまで取組んできた事業の中で手応えを感じたもの、ならびに、今後の計画について教えてください。

山田 これまでの人口減少対策は、子育て世帯への支援が中心でしたが、今後は、「子ども・若者への支援」も大変重要になってくると感じています。そもそも、若い方々が、将来に向けて結婚や家庭に希望を持つということは、今の生活や環境が充実したものでなければなりません。そのためには、経済的・社会的な支援が必要であり、若い世代の方々の意見を反映する仕組みが欠かせません。村では、今、「わかもの会議」や「高校生まちづくりスクール」、「東海高校との連携事業」を行っており、若い世代の主体的な取組みを応援しています。彼らのアイデアはユニークですが、「まち」や「大人」と関わりながら、自分たちのやりたいことを真剣に考えてくれています。そして、本年11月には、「わかものまちなみ」を本村で開催することになっています。全国から、わかものまちなみに関わる方や団体が集まり、多様な意見交換が展開されると思われまますので、こうした場を活用しながら、本村の若者たちが、更に大きく飛躍することを期待しています。

浅野 今教えていただいた事業の中には、初めて耳にする企画もありましたが、若い世代の皆様の思いやアイデアを引き出すことは、これからのまちづくりを考える中で、本当に重要だと私も感じています。村長はご存じだと思いますが、県北地域の各自治体では、近年同様な取組みが年々活発になっていて、若者がどんどん新しい発想を行政に提供してくれるようになってきました。「わかものまちなみ」が開催される際には、是非私も見学させていただきたいと思いました。是非また詳しく教えていただきたいと思います。

東海村の将来像について 新産業の創出につながるような プラットフォームづくりをめざす

浅野 私は、先の総選挙において東海村の将来像として「次世代医療・エネルギー研究開発都市へ」という方

針を掲げました。東海村の基幹産業である原子力分野をはじめ、そこで培われた技術を医療分野に活かす研究も始まっていると聞いています。日本を代表する先端技術の一大集積都市をめざしていくための取組みや施策の内容を教えてください。

山田 原子力科学は、研究開発の領域が広く、社会に貢献できる有用な自然科学の一つではないかと考えています。医療という点では、本村において、BNCTというがん治療法の臨床研究が進められております。現在、筑波大学を中心に、治験が行なわれており、今後の実用化を期待しているところです。また、JAEAの「JRR-3」では、モリブデン99などのRI製造の国産化をめざした研究開発も進められております。今、村では、新たに「産業振興ビジョン」の策定を進めているところがあります。本村の豊かな研究・産業資源を活用しながら、関係者間の連携を強化し、新産業の創出につながるようなプラットフォームづくりをめざしているところです。近年、JAEAの研究開発成果を活かしたスタートアップ企業が本村に立地したこともあり、今後とも、様々な先端技術の研究開発や産業化に向けた実証開発の集積地として、全国から注目されるような拠点となれるよう積極的に取組んでまいります。

浅野 私も、これからの地方経済の起爆剤になるのは、間違いなく、スタートアップ企業だと思っています。勿論、これまで東海村の産業を育ててきた既存産業の重要性に変わりはありませんが、更なる可能性を生み出していくのは、ご紹介いただいたような既存事業からスピンアウトしたスタートアップ企業や、全く新しい分野で挑戦していく企業だと思っています。現在は、政府としてもスタートアップの支援を2022年から2027年までの5か年計画で強力にバックアップしていますし、これからは、社会課題解決を目的とした「ソーシャルベンチャー」の分野でも大きな可能性があると感じていますので、是非、幅広く意見交換をさせていただきながら、東海村の発展に向けて取組ませてください。

「103万円の壁」の引上げについて

どのような支援策が最も効果的か考え取組みたい

浅野 昨年の総選挙が終わった直後から、国民民主党が掲げたいわゆる手取りを増やすための「103万円の壁」の引上げに、多くのご注目をいただいています。現在（12月時点）は、自民党および公明党との政策協議が



ソーシャルベンチャー分野の可能性について語る浅野議員

進んでいる状況ですが、本施策に対する村長の見解・期待や、手取りを増やすために、東海村の行政として取組んでいる内容があれば教えてください。

山田 今回の総選挙の結果をみると、国民民主党の掲げた「103万円の壁」に対する国民の期待が大きかったことが推察されます。現在、国政において、関係者間の調整が進められておりますが、私自身も、その動向には大変注目しているところです。私自身は、これまでも働く人たちを応援する立場でありましたので、やはり、手取りを増やす政策は必要であると思います。

一方で、行政を預かる立場としては、住民税の減少に伴うサービス提供への影響も懸念しているところではあります。しかしながら、地方財政対策は、本来、総務省と財務省において、しっかりと議論されるものと認識しておりますので、政策決定を受けた後で、適切に村政運営上の判断をしております。なお、市町村行政においては、直接的に、生活者の手取りを増やす施策というのは、考えづらいところではあります。しかしながら、物価高騰対策の必要性は感じているところであり、どのような支援策が最も効果的かということを考えながら取組んでまいりたいと思います。

浅野 全く仰る通りだと思います。地方財政への影響を抑制するという思いは、全く同じものがありますので、私としても103万円の壁の引上げに当たっては、その点に十分に意識を向けていきたいと思っています。一方、昨年末に与党が決定した令和7年度税制改正大綱の中では、103万円を123万円まで引上げる案が示されました。しかし、これと同時に自民党・公明党・国民

主党の三党間での協議は年をまたいで継続されることも決定されましたので、この123万円という基準額については、現時点では暫定的な金額に過ぎません。この年明け以降も協議が行なわれていますので、その中でより具体的な方策を検討していくよう党内からも声を上げていきたいと思っています。

また、昨年末に成立した令和6年度補正予算の中では「重点支援地方交付金」が1.1兆円追加されています。この交付金は物価高騰対策事業にも使えますし、東海村が全国に先駆けて実施した上水道代の補填にも活用できるものとなっていますので、ぜひ様々な施策の中で有効にご活用いただきたいと思います。

2025年に向けて 柔軟な発想とチャレンジ精神で 今年一年も走り続ける

浅野 2025年に向けて、村長として、またご自身の抱負を教えてください。

山田 2025年は、新たな総合計画がスタートします。従来とは、策定手法や内容を大幅に変え、施策の重点化

を図ることとしております。今後、5年間の村政運営について、4本柱（①人口減少対策、②新たな基盤整備、③DXの推進、④安全・安心の確保）を積極的に推進してまいります。

また、今年の3月には、「東海村発足70周年」を迎えます。7月の記念式典をメインに、一年間を通して、70周年の歴史を振り返るとともに、次の世代や未来を展望できるような取組みを展開してまいりますので、是非、ご期待ください。私個人としては、高齢者の仲間入りと言われる年齢を間近に控え、健康管理に一層注意しなければならぬと感じています。ただ、若い人たちには、まだ負けないとの自負もありますので、頭の中は、常に、令和の時代を意識しながら、柔軟な発想とチャレンジ精神で、今年一年も走り続けてまいります。浅野議員にも、いろいろとご支援をいただきながら、東海村を、そして県北と一緒に盛り上げていきたいと思っておりますので、今年もよろしくお願いいたします。

浅野 東海村発足70周年。同時に新たな総合計画のスタート元年という事で、山田村長にとっても新たな挑戦の一年になるかと思いますが、東海村の更なる発展を心からご期待申し上げます。是非、今後ともよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

浅野さとし プロフィール

略歴

- 1982年9月生まれ
- 2005年3月 青山学院大学工学部卒
- 2007年3月 青山学院大学大学院理工学研究科修了
- 2007年4月 株式会社日立製作所 日立研究所入社
- 2013年8月 日立製作所労働組合研究所支部執行委員
- 2015年9月 大島章宏衆議院議員秘書
- 2017年10月 衆議院議員初当選(第48回衆議院選挙)
- 2021年10月 衆議院議員2期目当選(第49回衆議院選挙)
- 2024年10月 衆議院議員3期目当選(第50回衆議院選挙)



日立事務所

〒317-0071 茨城県日立市鹿島町1-11-13
友愛ビル1階
TEL 0294-21-5522
FAX 0294-21-3014
Mail:contact@asanosatoshi.com

ご意見
ご要望

国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館406号室
TEL 03-3508-7231
FAX 03-3508-3231
MAIL:contact@asanosatoshi.com

